

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月10日

上場会社名 株式会社 ホギメディカル  
 コード番号 3593 URL <http://www.hogv.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 保木 潤一  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部 部長 (氏名) 石井順雄  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日 配当支払開始予定日 平成20年8月29日

上場取引所 東

TEL 03-6229-1300

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	7,522	—	1,754	—	1,778	—	1,068	—
20年3月期第1四半期	6,998	4.6	1,726	13.4	1,755	14.5	1,067	14.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	71.05	—
20年3月期第1四半期	71.01	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	60,843	50,330	82.7	3,347.12
20年3月期	61,514	49,631	80.7	3,300.59

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 50,316百万円 20年3月期 49,617百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	20.00	20.00	20.00	20.00	80.00
21年3月期	23.00	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	23.00	23.00	23.00	92.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	15,200	—	3,890	—	3,920	—	2,180	—	145.02
通期	31,150	7.4	8,100	12.0	8,140	11.7	4,660	14.9	309.99

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 一社(社名 ) 除外 一社(社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 16,341,155株 20年3月期 16,341,155株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 1,308,467株 20年3月期 1,308,337株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 15,032,788株 20年3月期第1四半期 15,033,654株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年4月11日発表の通期連結業績予想を修正していません。上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照下さい。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期の我が国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を發した世界経済の減速懸念、原油・素材価格の高騰、急激な円高の進行等により、先行きは不透明感が強まる状況となりました。当医療機器業界におきましては、医療費抑制を目的とする近年の医療制度改革の影響により、引き続き厳しい経営環境が続いております。2008 年 4 月に実施された診療報酬の改定も、本体部分はプラス改定されたものの全体としてはマイナス改定され、医療機器業界を取り巻く各企業は、より一層の経営の効率化・合理化が求められる状況となっております。また、2005 年 4 月に施行された改正薬事法により、各企業においては、安全性の確保と法令遵守がますます重要な経営課題となっております。

このような環境の下、当第 1 四半期の連結売上高は 7,522 百万円（前年同期比 7.5%増）、連結営業利益は 1,754 百万円（同 1.6%増）、連結経常利益は 1,778 百万円（同 1.3%増）、連結四半期純利益は 1,068 百万円（同 0.0%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期末の総資産は 60,843 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 670 百万円減少いたしました。流動資産は 25,654 百万円となり、308 百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金の減少（573 百万円）、棚卸資産の減少（262 百万円）、受取手形及び売掛金の増加（368 百万円）等です。固定資産は 35,189 百万円となり、362 百万円減少いたしました。有形固定資産は、減価償却費が有形固定資産の取得を上回り、28,518 百万円となり、1,028 百万円減少いたしました。無形固定資産は 751 百万円（287 百万円増）、投資その他の資産は 5,918 百万円（378 百万円増）となりました。

当第 1 四半期末の負債合計は 10,513 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 1,370 百万円減少いたしました。流動負債は 6,716 百万円となり、925 百万円減少いたしました。主な要因は、確定納付による未払法人税等の減少（947 百万円）、賞与引当金の減少（279 百万円）、支払手形及び買掛金の減少（242 百万円）、賞与関連の未払費用の増加（708 百万円）等です。固定負債は 3,796 百万円となり、444 百万円減少いたしました。主な要因は、長期借入金の返済（425 百万円）等です。

当第 1 四半期末の純資産の部は 50,330 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 699 百万円増加いたしました。主な要因は、当四半期純利益（1,068 百万円）の計上による増加、配当金の支払い（300 百万円）等による減少です。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の 80.7%から 82.7%となりました。

（キャッシュ・フローについて）

当第 1 四半期末の現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより 10,253 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 584 百万円減少いたしました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を 1,781 百万円、減価償却費を 608 百万円計上するとともに、従業員の賞与関連の流動負債が 737 百万円増加いたしました。一方、法人税等の支払い 1,651 百万円、売上債権の増加 428 百万円等がありました。この結果、キャッシュ・フローは 443 百万円となり、前年同期に比べ 1,293 百万円減少いたしました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等により 257 百万円の支出となり、前年同期に比べ 59 百万円支出が増加いたしました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済や配当金の支払い等により 725 百万円の支出となりました。

通期のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、業績を反映し約 7,500 百万円の増加を予想しております。投資活動によるキャッシュ・フローは、主に茨城県牛久市における新工場の土地取得費用の支払いやインドネシアの子会社関連の投資等により約 3,000 百万円の支出を見込んでおります。財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払いや借入金の元利金の支払い等により約 2,500 百万円の支出を見込んでおります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の国内経済は、世界経済の減速懸念、原油・素材価格の高騰、急激な円高の進行等により、先行きは不透明感が強まるものと思われまます。当医療機器業界におきましては、前述いたしました通り引き続き厳しい経営環境が続くものと考えられ、各企業はこれまで以上に経営の効率化・合理化が求められます。当社グループにおきましては、引き続き「オペラマスター戦略」及び「サーレム戦略」を果敢に推進することにより、他企業との差別化を図ってまいります。このような状況を踏まえ、通期の連結業績予想は以下の通りであります。

(連結業績予想)

売 上 高	31,150 百万円	(前期比 7.4%増)
営 業 利 益	8,100 百万円	(前期比 12.0%増)
経 常 利 益	8,140 百万円	(前期比 11.7%増)
当 期 純 利 益	4,660 百万円	(前期比 14.9%増)

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

◎法人税等の計上基準 法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

◎当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第 12 号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 14 号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

◎棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第 1 四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第 9 号）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ 35 百万円減少しております。

◎「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第 1 四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第 18 号）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成 20 年 6 月 30 日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成 20 年 3 月 31 日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,564	11,138
受取手形及び売掛金	8,855	8,487
棚卸資産	5,411	5,674
その他	822	662
流動資産合計	25,654	25,962
固定資産		
有形固定資産	28,518	29,547
無形固定資産	751	463
投資その他の資産	5,918	5,540
固定資産合計	35,189	35,551
資産合計	60,843	61,514
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,469	3,711
1年以内返済予定長期借入金	1,000	1,000
その他	2,247	2,931
流動負債合計	6,716	7,642
固定負債		
長期借入金	2,500	2,925
その他	1,296	1,315
固定負債合計	3,796	4,240
負債合計	10,513	11,883
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,123	7,123
資本剰余金	8,336	8,336
利益剰余金	42,132	41,479
自己株式	△7,105	△7,104
株主資本合計	50,486	49,834
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△208	△425
繰延ヘッジ損益	469	265
為替換算調整勘定	△431	△57
評価・換算差額等計	△170	△217
少数株主持分	14	14
純資産合計	50,330	49,631
負債純資産合計	60,843	61,514

(2) 四半期連結損益計算書  
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 6 月 30 日)
売上高	7, 5 2 2
売上原価	3, 6 9 3
売上総利益	3, 8 2 9
販売費及び一般管理費	2, 0 7 4
営業利益	1, 7 5 4
営業外収益	4 8
営業外費用	2 5
経常利益	1, 7 7 8
特別利益	3
特別損失	0
税金等調整前四半期純利益	1, 7 8 1
法人税等	7 1 3
少数株主利益	0
四半期純利益	1, 0 6 8

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 6 月 30 日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1, 781
減価償却費	608
売上債権の増減額 (△増加額)	△428
棚卸資産の増減額 (△増加額)	106
仕入債務の増減額 (△減少額)	△177
その他	193
小計	2, 083
法人税等の支払額	△1, 651
その他	11
営業活動によるキャッシュ・フロー	443
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△178
その他	△79
投資活動によるキャッシュ・フロー	△257
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△425
自己株式の取得による支出	△0
配当金の支払額	△299
財務活動によるキャッシュ・フロー	△725
現金及び現金同等物に係る換算差額	△45
現金及び現金同等物の増加又は減少額	△584
現金及び現金同等物期首残高	10, 838
現金及び現金同等物期末残高	10, 253

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 12 号) 及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 14 号) を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第 1 四半期連結累計期間 (自平成 20 年 4 月 1 日 至平成 20 年 6 月 30 日)

当社及び連結子会社の事業は、医療用消耗品等の製造・販売並びにこれらの付随業務の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載は省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第 1 四半期連結累計期間 (自平成 20 年 4 月 1 日 至平成 20 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	日本	インドネシア	計	消去又は全社	連結
売 上 高					
(1) 外部顧客に対する売上高	7,360	162	7,522	—	7,522
(2) セグメント間の内部売上高	—	873	873	(873)	—
計	7,360	1,035	8,396	(873)	7,522
営 業 費 用	5,711	914	6,625	(856)	5,768
営 業 利 益	1,649	121	1,771	(16)	1,754

【海外売上高】

当第 1 四半期連結累計期間 (自平成 20 年 4 月 1 日 至平成 20 年 6 月 30 日)

海外売上高は、連結売上高の 10%未満のため、記載は省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし

[参考資料]

前第 1 四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成 20 年 3 月期 第 1 四半期)
I 売 上 高	6, 9 9 8
II 売 上 原 価	3, 3 6 1
売 上 総 利 益	3, 6 3 6
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1, 9 1 0
営 業 利 益	1, 7 2 6
IV 営 業 外 収 益	4 7
V 営 業 外 費 用	1 8
経 常 利 益	1, 7 5 5
VI 特 別 利 益	2 1
VII 特 別 損 失	6
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	1, 7 7 0
法 人 税 等	7 0 2
少 数 株 主 利 益	0
四 半 期 純 利 益	1, 0 6 7

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	前年同四半期 (平成 20 年 3 月期 第 1 四半期)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1, 7 7 0
減 価 償 却 費	6 7 2
売上債権の増減額 (△増加額)	△ 2 8 4
棚卸資産の増減額 (△増加額)	2 1
仕入債務の増減額 (△減少額)	4 1 7
そ の 他	3 4 9
小 計	2, 9 4 6
法人税等の支払額	△ 1, 1 9 7
そ の 他	△ 1 1
営業活動によるキャッシュ・フロー	1, 7 3 6
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 1 5 5
そ の 他	△ 4 2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1 9 8
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△ 4 2 5
自己株式の取得による支出	△ 0
配 当 金 の 支 払 額	△ 2 9 9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 7 2 5
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	1 7
V 現金及び現金同等物の増加又は減少額	8 3 0
VI 現金及び現金同等物期首残高	7, 8 2 5
VII 現金及び現金同等物期末残高	8, 6 5 5



(3) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第 1 四半期連結累計期間（自平成 19 年 4 月 1 日 至平成 19 年 6 月 30 日）

当社及び連結子会社の事業は、医療用消耗品等の製造・販売並びにこれらの付随業務の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載は省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第 1 四半期連結累計期間（自平成 19 年 4 月 1 日 至平成 19 年 6 月 30 日）

(単位：百万円)

	日本	インドネシア	計	消去又は全社	連結
売 上 高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,982	15	6,998	—	6,998
(2) セグメント間の内部売上高	—	966	966	(966)	—
計	6,982	981	7,964	(966)	6,998
営 業 費 用	5,385	899	6,285	(1,013)	5,271
営 業 利 益	1,596	82	1,679	46	1,726

【海外売上高】

前第 1 四半期連結累計期間（自平成 19 年 4 月 1 日 至平成 19 年 6 月 30 日）

海外売上高は、連結売上高の 10%未満のため、記載は省略しております。

6. 生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

生産実績の事業の種類別セグメント情報の記載は、医療用消耗品等の製造・販売の単一事業でありますので省略しております。

なお、当第 1 四半期の生産実績を使用部署・用途・目的別に示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

区 分	当第 1 四半期		前年同期比 (%)
	〔 自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 6 月 30 日 〕		
滅菌用品類	905		104.6
手術用品類	6,337		107.9
治療用品類	8		153.7
その他	186		311.5
合 計	7,437		109.3

(2) 商品仕入実績

商品仕入実績の事業の種類別セグメント情報の記載は、医療用消耗品等の製造・販売の単一事業でありますので省略しております。

なお、当第 1 四半期の商品仕入実績を使用部署・用途・目的別に示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

区 分	当第 1 四半期		前年同期比 (%)
	〔 自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 6 月 30 日 〕		
滅菌用品類	32		86.5
手術用品類	201		98.8
治療用品類	36		84.9
その他	76		145.2
合 計	347		102.9

(3) 受注実績

当社グループは見込み生産を行っているため、該当事項はありません。

(4) 販売実績

販売実績の事業の種類別セグメント情報の記載は、医療用消耗品等の製造・販売の単一事業でありますので省略しております。

なお、当第 1 四半期の販売実績を使用部署・用途・目的別に示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

区 分	当第 1 四半期		前年同期比 (%)
	〔 自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 6 月 30 日 〕		
滅菌用品類	910		97.5
手術用品類	6,233		106.9
治療用品類	68		88.3
その他	311		199.0
合 計	7,522		107.5